「事業戦略に特許情報を活用するためには何が必要なのか？」(概要)

2017 年 4 月の「知財人材スキル標準（version2.0）」で IP ランドスケープというコンセプトが導入されて早 6 年が経過し、研究開発戦略立案だけではなく、経営戦略・事業戦略立案にも特許情報・パテントマップを活用していこうという流れが定着してきました。しかし、特許庁のアンケートにもあるように経営・事業戦略に特許情報を活用できている企業はまだ必ずしも多いとは言えません。本講義では講師のこれまでの分析・コンサルティングプロジェクトの経験を踏まえて、特許情報を事業戦略立案へ活用するためには何が必要なのかについて、パテントマップの例を示しながら説明します。